

【様式1】

概要書

研究名	コンクリート構造物の検査と補修法の検討
民間機関等 (相手方)の名称	株式会社 ムサシ
研究の概要	<p>建築構造物を健全に維持・保全するためには定期的に建物を検査し、その結果に基づいて適切に補修を行う必要がある。コンクリート構造物の検査において、建物の性能に大きな影響を及ぼす外壁の検査では、目視のほか各種機器を用いて行っている。しかし対象建物の築年数や仕上げの違いなどが検査結果に大きく影響することから、状況に応じた検査とその結果を評価して適切な補修方法の選択につなげることが求められる。あわせて補修後の施工の確認も重要になっている。</p> <p>そこで本共同研究は、試験体を対象とした実験と実建物に対する検査を行うことにより、コンクリート構造物の検査と補修法を検討することを目的に実施した。</p> <p>具体的には、予備試験の結果をもとにして、新設コンクリートの初期における乾燥収縮低減を意図して作製した試験体を対象として、各種の検査（非破壊検査と破壊検査）を実施し、この結果を考察した。あわせて、補修法の検討として、ひび割れ補修材の接着強さ確認を行った。</p> <p>研究スケジュール(研究期間:令和3年7月1日～令和4年3月11日)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 7月～9月: 試験条件の検討(共同で担当)、 予備試験の試験体作製 (機構で担当)・ 9月～10月: 予備試験の実施 (機構で担当) 予備試験結果の考察 (共同)、本試験体の作製 (機構)・ 11月～1月: 本試験の実施 (共同で担当) 1月～3月: 試験結果の考察 (機構で担当) 報告書の作成と報告会 (共同で担当)